

平成31年4月26日

会員各位

協会だよりー0005(5月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

2・【トピックス】:

- 第44期定期総会の開催日が5月14日（火）で確定しました。
場所：JXグループ 六本木クラブ
住所：東京都港区六本木3-16-7
時間：14:30-15:30（役員会）
16:00-17:00（総会） 17:30-19:30（懇親会）
参加予定：総会34社 37名、懇親会：46名
- 令和元年第一回運営委員会開催
日時：5月17日（金）16:00-17:00
場所：堺化学工業㈱東京支店



- 一. 協会よりのお知らせ
- 二. 「トピックス」
- 三. 「実施済事項」
- 四. 「予定事項」
- 五. 事務局より（5月度の予定）
- 六. 【雑学】小林尚道氏の漫遊記「高輪から新橋へ散策する」

新元号「令和」がスタートします。

ありがとう「平成」！ 「令和」よろしく！

3. 【実施済事項】

- ① 協会だより3104（4月号）をHPに更新・各会員並びにOB各位に通知
- ② 新年度の年会費請求書を郵送
- ③ 2018年資源化協会報告書を各社へ郵送
- ④ 【会員専用HPの更新】
 - 資源化実績報告書PDF掲載
- ⑥ 協会担当者の変更連絡
 - ◎クライアント触媒株式会社 野々山大輔様へ（運営委員）
 - メールアドレスの修正：daisuke.nonoyama@clariant.com

4. 【予定事項】

- ① 第44期総会並びに懇親会
- ② 第一回運営委員会の開催
 - 日時：令和元年5月17日（金）午後4時から
 - 場所：堺化学工業㈱東京支店 会議室
 - 議題：・総会の反省
 - ・7月10日JFEスチール千葉の工場見学

5. 事務局（5月度の出勤予定）

出勤予定●：9日間 ×：年末休み

日	月	火	水	木	金	土
			5/01	5/02	5/03	5/04
5/05	5/06	5/07	5/08	5/09	5/10	5/11
		●			●	
5/12	5/13	5/14	5/15	5/16	5/17	5/18
		総会			運営委員会	
5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24	5/25
		●		●		
5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31	
		●			●	

（文責：専務理事）

【雑学】港区の高輪から芝・新橋へ散歩する

港区は昭和 22 年（1947）、海岸に近い芝区・山手の赤坂区・麻布区の 3 区が合併して出来た区です。今回は港区でも旧赤坂区を中心とした大名屋敷跡や神社を訪ねる歴史散歩でした。今回は旧芝区にある数々の幕末の事件や出来事の場所、元禄の事件（赤穂浪士）を中心とした寺社や大名屋敷跡を訪ねる歴史散歩です。次に歩いたコースを示します。

《コース》JR 品川駅発…東禅寺…泉岳寺…高輪大木戸跡…泉岳寺駅～（都営地下鉄）～三田駅…西郷・勝会见地…薩摩屋敷跡…三田駅～（都営地下鉄）～芝公園駅…ペリー提督像…増上寺会館（昼食）…愛宕神社…浅野内匠頭終焉の地（田村右京大夫上屋敷跡）…JR 新橋駅／解散

＜東禅寺＞港区高輪 3-16-16



東禅寺は慶長 15 年（1610）、家康・秀忠の軍師嶺南和尚が、溜池付近に創建、寛永 13 年（1637）に現在地に移りました。臨済宗妙心寺派のお寺で山号を仙日山と称します。

安政 6 年（1859）わが国最初のイギリス公使館が東禅寺に置られました。初代公使はオールコックです。文久元年（1861）5 月 28 日、オールコックが攘夷派の水戸浪士に襲撃された事件は有名です。さらに翌年 5 月 29 日、警備の松本藩士による殺傷事件が発生しました。

東禅寺を出て右手の露地を上る坂は「洞坂」と言い、一般道に出るとそこは「桂坂」と言います。この辺を洞村（ほらむら）と言ったとか昔はほら貝が出たとか、またくぼ地だから洞という等諸説があります。桂坂は、蔦蔓が生茂っていたとか、坂の上にあるお寺の坊さんが鬘を被って品川の遊郭で遊んだ帰途、この坂で急死したなどの諸説があります。

＜泉岳寺＞港区高輪 2-11-1

泉岳寺は慶長 17 年（1612）麻布の霊南坂付近に、家光の禅学の師宗閔の隠居寺として開かれたのが始まりとされています。その後火災で焼失し、家光の命で浅野家ほか 5 大名の協力により寛永 18 年（1641）現在地に再建されました。宗派は曹洞宗で山号は萬松山です。この寺は、浅野長矩公および赤穂義士（四十七士）の墓のあることで知られています。入口には、連判状を手にした大石内蔵助の銅像がお出迎え



えです。境内には、義士が討入りで討取った吉良上野介義央の首を、浅野長矩公の墓前に添える前に洗ったという首洗いの井戸があります。



第一京浜国道に戻り、交差点を渡った所に**高輪大木戸跡**があります。おおよそ都営地下鉄「泉岳寺駅」入口前と言った場所でしょうか。江戸時代の前期、ここ東海道には高輪大木戸、甲州街道には四谷大木戸が置かれました。大木戸を出ると、東海道は品川の宿、甲州街道は内藤新宿となります。江戸時代前期はここまでが江戸市内であったのでしょうか。江戸時代後期には大木戸が廃止されています。今話題の JR



山手線の新駅（高輪ゲートウェイ駅）がこの近くに出来ることになり、正に工事中で東京オリンピック開催の 2020 年 3 月末に開業予定です。ここで泉岳寺駅より三田駅まで 1 駅乗車で移動します。三田駅を出ると其処は三菱自動車工業㈱の本社ビルです。昨年来、ゴーン元会長逮捕で話題のルノー・日産自動車・三菱自動車の三社連合の一角の三菱自動車、そのビル角に西郷・勝会見地の碑があります。



<西郷・勝会見の地跡> 港区芝 5-32 付近

薩摩藩抱屋敷の有ったとされる地に石碑が立てられました。



慶応 4 年（1868）3 月 13・14 日の両日、官軍の江戸城総攻撃の直前、西郷と勝の両者の会談によって江戸城は無血開城が決まり、江戸は戦火を免れました。しかしこの会議の場所はこの蔵屋敷の他に四国町の上屋敷、池上本門寺・愛宕山と諸説がありはっきりしていません。とにあれ、会談のおかげで江戸は戦火を免れました。

<薩摩藩上屋敷跡> 港区芝 5-7

慶応 3 年（1867）12 月 25 日、三田の薩摩藩上屋敷が庄内藩を主とする諸藩兵によって焼き討ちされました。西郷隆盛の指示で江戸および関東を混乱させる目的で尊攘浪人を集め、強盗や放火を繰り返し幕府を徴発しました。浪人たちが逃げ込む屋敷が薩摩藩邸であり、懲罰の為に庄内藩と新徴組は薩摩藩の徴発に乗り焼き打ちし、鳥羽伏見の戦いの元となりました。



薩摩藩上屋敷跡は現在、日本電気株（NEC）の本社ビル敷地となっています。NEC のビルは地上高さ180m、43 階の高層ビルでロケットをイメージして建築されたと言われています。都営地下鉄で再度三田駅より芝公園駅まで1 駅乗車します。芝公園 10 号地はサラリーマンの憩いの場で、日比谷通りに平行した広い林間



の公園となっています。ここにペリー提督像と万延元年遣米使節記念碑があります。ペリー像は昭和 28 年（1953）日本開国 100 周年

にペリーの出生地ロードアイランド州ニューポート市より寄贈されたものです。遣米使節記念碑は遣米使節出発 100 周年を記念して昭和 35 年（1960）6 月ここに建立されました。

日比谷通りを挟んで増上寺の三解脱門が聳えています。今回の増上寺訪問は、見学はさておき昼食を頂くためです。三解脱門横の正門に入ってすぐのところに近代的な鉄筋コンクリートの建物「増上寺会館」があります。その一階は大食堂で増上寺の職員や僧職の方のためにありますが一般の人でも利用できます。A コースのメインデッシュは肉、B コースのメインデッシュは魚とされています。僧職の方々も肉・魚が OK の時代なのですね。私たちは 32 名参加という大人数でしたので、事前にサバ味噌定食（一人前 900 円）をお願いしました。



次の目的地は愛宕山（標高 26m）です。御成門交差点を左に入り次の信号を右折すると、丁度、慈恵医大病院及びキャンパス裏に当たり愛宕神社交差点からは愛宕山が見えます。

愛宕神社に行くため、健脚組は急勾配の出世の石段（曲垣平九郎が馬で上ったという）を上り、足に自信のないグループは愛宕山エレベーターの利用です。



愛宕山エレベーターを利用すると、そこはNHK放送博物館の前、愛宕神社へ行くには石段(男坂 86段)利用のほうが早そうです。

＜愛宕神社＞港区愛宕1丁目

神社は愛宕山頂に有り、慶長8年（1603）、関ヶ原合戦の戦勝を記念して仮殿を建立、同15年（1610）に本堂・仁王門・坂下惣門などの建物が整えられました。元和3年（1617）二代将軍秀忠が社領百石を寄せ、将軍家ならびに江戸の防火の守護神としました。

桜田門外の変で知られる、井伊直弼襲撃の水戸・薩摩の浪士たちが、安政7年（1860）



3月3日早朝、前日に品川の土蔵相模で決別の宴を開き、井伊直弼襲撃前に愛宕神社へ参詣したとされています。境内には、昭和16年（1941）3月3日「桜田烈士愛宕山遺蹟碑」が建立されています。浪士たちは直弼を襲撃暗殺したのですから基本的には犯罪者でしょうが、相手は安政の大獄（安政5年～6年）で、尊皇攘夷の志士達を大弾圧した直弼ですから結果、明治維新に貢献した彼等は烈士となったのでしょう。碑が建立された年が、日米太平洋戦争が始まった昭和16年（1941）と言うのも微妙な年ですね。

＜浅野内匠頭終焉之地碑＞港区新橋4丁目交差点付近

江戸時代、この辺りは芝愛宕下といわれ、奥州一関藩（現、岩手県）田村右京大夫の上屋敷がありました。元禄14年（1701）3月14日、内匠頭は江戸城松の廊下での刃傷沙汰があったその日の内に、この屋敷で切腹させられました。

享年35歳でした。

帰りは、内匠頭の冥福を祈り、菓子舗新正堂に寄り切腹最中を購入、新橋SL広場で解散となりました。謝辞：簡単な文章で申し訳ありません。（文責：小林尚道）

